

萬國幼稚園
協會案
幼稚園要目 (續き)

第七章 遊戲とゲーム

特種目的

完全な自己活動の精神で、遊戲やゲームをする、子供は〇長して必ず自己及他人の幸福を増進する爲れ自己を犠牲にする事の出来る、完全な自決的人物になる。

遊戲が、教育上からも、又人生からも重大なものであるといふ事は、現代の教育家の多くが一致する處であつて、フレーベル以來その方法の選擇や形式の組織に就いて多くの研究がなされて來た。遊戲は又筋肉鍛練や注意力の増進と同様、子供の種々な時期に於ける社會本能を十分満足せしめる。

一般目的

體力増進。身體の鍛練。活動の優美と容易。社會的協力の訓練。經驗を理解する爲の補助。

幼稚園要目(續き)

音、色、形を識別して一時に一つの感官を働かす遊びに依て、特種な觀察力の鋭敏さを増進すること。筋肉を平均して發達せしむること。——殊に胴の筋肉と、此の時代に急速に發育する腕、足の筋肉に於て——。

リズム的な活動によつて自己表現を助長する事と、之等の活動を美的形式ならしめること。

劇的表現によつて經驗を理解する事と組み立てる事を扶助する事。

主題及方法

正しく行はれるゲームは、身體的鍛練と智力の集中、と社會的協力の悦とを含む——程度は一樣ではない。四歳から六歳までの子供に特に價値ある遊戲とゲームは次の如く

分類される。

感覺的辨別の働を呼び起す遊戯。

筋肉の活動と鍛練のゲームと遊戯。

リズム的活動と歌に合せたゲーム。

劇的遊戯。

感覺の遊戯。——幼稚園前時代に——

子供達は、身體の基礎的調和の熟達と初等感覺智覺の鍛練に、

多大な關係を持つ。

物は子供達にとつて二重の興味を持つ。——身體的反應の中心

としての興味と新しい感じの源としての興味と——

之等は、觸覺視覺聽覺筋肉感覺を享樂する爲になせれる。

幼稚園時代には、子供達は日程にある音樂的經驗及多種

の材料で製する事によつて、更に多くの感覺訓練を受ける。

が之に付け加へて色、音、形、組織を辨別し得る自分の能

力を意識する機會から悦と利益とを得る。

感覺遊の例。

1. 觸覺 目かくしをした子供が熟知の物を、手で觸て見

てあてる。その物を何か柔かい地質の袋に入れればゲーム

の程度を少しむづかしくする事が出来る。

2. 聽覺 子供達は目に見えぬものを音に依て識別し或は

その位置を識別する。同様の遊びで一人の子に他見をその

聲であてさせる事がある。

3. 視覺 子供が目をかくしてゐる間に三個以上の物を一

列にならべて置く。その中の一個を取りのけ或は順序を變

へる。目をかくした子供は不足の物の名を云ふか、或は元

の順序に置きかへるかする。

筋肉鍛練のゲーム及遊戯。

1. 器具を用ひて 身體構成的發達は必要に應じては匡正

的鍛練を行ひ又賢い指導による戶外活動も含む。石けり、

鬼ご、子取る、等は有用であるのみならず現今戶外遊園

に見る所の遊戯の形式である。

それには簡單な板すべりやブランコ、シーソー、階級、

みちかい梯、棒昇り、繩のほり、適宜な高さの機械體操具

及その他の遊戯道具も含まれてある。之等の活動は胸と腹

部筋肉と共に身體の軀幹を働かせ同時に手足を働かせる。

之等は子供の體力と勇氣を増進し、身體的制限に打ち勝た

うとする道徳的な決心をも増す。此の如き形式の遊びの器具は冬季に體操場で行はれる。尙ほ場處が許すなら斯様な装置を教室の中に置く——必要に應じて用る様に——事は望ましい事である。簡單で面白い、身體の平均を取る練習は幼稚園の室の床に於てある枚の上を歩いたり走たりするのを感じる事である。暫時してこの板は床から一、二寸高くしてもよろしい、それは子供達を一居注意深く身體の平均を取るようにする。室内の小さい階段も直ちに熱達しその頂上の段に座て新しい視點から見下し得た事を子供達は大そう喜ぶ。幼い子には昇りはじめに擡る爲に階段に手摺りが必要である。室内で用ひる其他の器具にはモンテッソリーの併行棒がある、——頂上が三インチの板で其上に子供達は腕をやすめ腕の重みを足に支へさせぬようにし足は下の方の横木にのせて運動する——。

2. ボールのゲーム 幼稚園時代の子供はゴム毬を轉がしたり、ついたり、投げたりして用ふ。他のゲームをするに先つて子供達は六インチの大きさのゴム毬で十分自由に遊ぶ機会を與へられるべきである。——ゴム毬遊びを知り又

自由にそれを扱ひ得る様に——。

初めにする毬のゲームは簡單で容易にし得るものでなければならぬ、次いで一層多くの技巧や練習を要するものへうつる。例へば子供達は床に圓になつて座り一兒が圓を横切つて毬を轉がすと、それを受けた兒がまた送り返しそれを續行する。も一層これをむづかしくするには各兒童が某と定た子供へ圓を横切つて毬を轉がするような仕方にする。第三の更にむづかしい方法は輪の中央の的を置いてゴム毬でそれを打つ事である、上手になればだんく、的を小さくする。

同様にして毬をはづます遊びを始めを、——まづ簡單なはづましたりつかむだりする事から——。次で圓の中に一人の兒が立て代りく、に他兒に毬をはづまして渡す。數人の子供が或回数か或は歌が終るまで毬をはづませ、その歌の終つた時或は其回数すんだ時他兒に之を渡す。豆讓やボールを投げてする同様な方法の遊びはもつと成長してからの方がよい。底無の籠やベルの附いたがを通して之を取扱ふ事は技巧を發達させる。これらは技術や敏活さを増す

爲の多くのゲームの中の單なる例にすぎない。
リズム的な歌をうたふゲーム

リズム的な活動の遊戯は、室内を速く又遅く走たり歩いたり飛んだりする簡單な事——それは已に子供達が自由に爲得る——では始められる。やがて種々なリズムが紹介されるに至りて子供達はそれを——各自おもひ／＼の方法で、

——身體的運動で再現する。はじめは子供の活動を一定するよりもむしろ音楽の方が從的になるべきである。子供達が上手になれば種々なリズムや種々な速度に應じる力が出て来る。運動は例へば、少し歩きスキップし又歩く、或は歩き回轉し他方へ歩く、又前にスキップ横にスキップ手をつないで圓なりにスキップする等交互になつて居る。そして斯様な變化は子供達から暗示されるのである。フォークダンスや歌ふゴームの特色である動作形式や簡單な歩き方は實驗の中に自在に爲得る様になる。ごく簡單な小さいダンスは、之等の動作を結び合し子供と教師とで作り出される。此の様なりズムから Come chare a little partner,

Dance a little partner, Sally go rond the stors, Our shoes are

made of leather, 等のゲームの形式へうつるのはほんの一步である。——これらのゲームは言葉から暗示を受けて居るが、言葉は變へてもよいのである。最も簡單なりズムの表現は、動作の優美と容易を増すのに價値あるものであつて一層藝術的なゲームの形式を自然に發展させる材料を供するのに價値あるものである。單純な素朴な歐洲の農夫の生活に起原してゐるフォークダンスの或るものは、其内容を十分子供に理解し得る様にする爲に變化させてもよい。しかし多くの指導を要する入り組んだフォークダンスは年長の子供達——自己表現と同様に技巧を喜ぶ——に適してゐる。

劇的遊戯

四歳から八歳の子供達は「兒童の自發的想像の黄金時代」である。

模倣は生理的及感覺運動形から劇的形式變化がある。觀念が實行となり、暗示的な環境の活動が心像を刺戟し、それが劇的形式に再現される。

子供が自發的に玩具や手近いもので劇的遊戯をするとい

ふ事は前の章に於て已に説いたことである。

家事遊や他の社會的活動は要目の主題により或は又他の思ひがけない經驗に暗示される。斯様な種類の遊では子供は自分が興味を持た活動をよく知らふと努力する。教師は同情を持って子供の活動を生活に眞實である様に又遊戯の意義を豊富にする様な事件を附け加へて一層完全な相關的な動作に導く。それには子供が理解しようとする活動に一層直接な經驗を與へ又想像する様に誘導する質問を出し或は遊戯其他之に關する活動を提案するがよい。例へば店遊びをするのに最初は子供達はたゞ賣買のみに餘念がない。がいつまでも其状態が續いたら教師は「御馳走にするのに買った物をお母さんはどうなさるでしょう」もしお母さんが買ひに行かれない時はどうしますか」雜貨店は何時閉るのでせう」等といふ問を出す。日程に提案された劇的遊戯の主題は「赤ちやんの世話」「日々の家事」「玩具店へ買物に行き、うそつこの玩具で遊ぶ事」「雪で雪人形を造て遊ぶ事」「郵便配達」「鍛冶屋」「消防隊」「汽車」「學校」「園藝」其他一般子供の周圍にある簡單な事柄である。之等のゲームは子

供と教師の間にやりとりをさせる。教師の子供の考に對する同情と友情とにより子供は遊戯の意義を明かに理解し得る。子供の想像が發達すると彼等はお話を劇化しようとする。致養ある家庭から來る子供達は幼稚園時代に早くこの劇的遊戯を提案しお話の中の人物になる子供達を自分で選みその筋を演じる。かくしてお話に依て満たされた想像的經驗の價値が増大される。然しこの種類の遊戯は常に表現を要求する感情的興味を伴ふといふ事を念頭に置かねばならぬ。

「三匹の熊」「三匹の牡山羊」「五匹の小さいリス」の如きお話によつて暗示された遊戯は幼稚園の子供に適する遊の例である。劇化「書くこと、言語」との關係は言語の章に於て述べたので此處には略す。

多くのリズム的活動の遊戯は劇的要素を持てる。例へばフェアリーの様につまさきで歩き、巨人の様に車けに歩き、兵士の様に行進し、馬の様に、ランニング、ギャロツピング、ドツロツティングし、シーソーの様に腕をのびして身體を曲げ、獨樂の様に回轉し。實際に繩がなくてもス

キップで架空的に繩飛をし、時計の振子の様に腕を振る等之等の遊戯の形式は子供の興味の自發的表現として、活動に物に、再現された時、非常に價值あるものである。之等の中の或ものは歌を伴ふ形式をとる。Neidinger's Seesaw や Miss Craufeld の His is the way my dolly walks, は即ちその例である。

他の劇的な遊戯から I went to visit a friend o' a day や Who willy my toys? の如きリズム的なゲームを生ずる。幼稚園の遊戯が、正しく理解され賢い進展を來す時には、子供達は其の感情生活を喜んで自由に發表する事が出来る。

幼稚園の遊戯及ゲームの或る規範を表せば次の如くである。

一般的な或は少くとも、一層大なる經驗へ子供の興味を導くに足る處の、價值ある内容を持つべきである。

漸次簡單に、然し純粹な藝術的形式をとらねばならぬ。すべてゲームの價值は次の如き問を以て試みられる。

これは子供の興味から起るか、そして子供達はそれを喜んでするか。

このゲームは漸次主題に適當な形式をとる事が出来るか。このゲームは形式及内容の兩者に於て、更に發展し得る價值ある内容をもつか。

これら以外の技倆と充分な表現とを要求するゲームを、くりかへす事は形式が完全であるか或はくりかへす毎に變化を來すか、そのいづれかでない時はそれは時の浪費であり發展の妨である。

ゲームが絶えず教師からの匡正せられたり暗示を受けなければならぬ場合には、ゲームの形式が兒童に取てむづかし過ぎるか又は子供達の興味が起てゐなかつたかを表すものである。

効 果

態度、興味、趣味、自由なる劇的遊戯に於ける思想發表の容易、藝術形式を有するリズム的な活動の享樂。

習慣と熟練。ある身體的缺陷の匡正。筋肉の鍛練。身體の輕快。

智識。強制及熟練を要するゲームを支配する規則の認識。自然及社會に關する活動に對しての一層理智的な興味。